



【女子団体追い抜き】好スタートを切り、勢いよく飛び出す(右から)高木美帆、菜那、菊池彩花

五輪金快走

スケート 壮行レース

2018 平昌で 輝け

【長野】スピードスケートの平昌オリンピック日本代表選手壮行タイムトライアル(日本スケート連盟スピードスケート強化部など主催)最終日は20日、長野市のエムウェーブで男女の団体追い抜きなどが行われた。金メダルが期待される女子団体追い抜き(チームパシユート)は、高木美帆(日体大助手)日体大、帯南商高(日本電産サンキョー)同高(高木美帆、菊池彩花(富士急)の3人で臨み、2分59秒29とまずまずのタイムを記録した。日本B(佐藤綾乃(高崎健大、酒井寧子(同)帯南商高、押切美沙(富士急)駒大苫小牧高、中札内中)は3分2秒66。男子は3分47秒08だった。(北雅貴、金野和彦)

女子団体追い抜き好タイム

女子団体追い抜きは今季W杯で3戦3勝しており、レースのたびに世界記録を更新、ソルトレークシティ(米国)では2分50秒87をマークして圧倒的な強さを誇る。高木姉妹は不動のメンバー。もう1人は佐藤綾乃が2戦、菊池彩花が1戦に出場した。
この日は昨季をけがで棒に振り、組む回数が少なかつた菊池彩花がメンバー入り。170センチと長身の菊池と155センチの高木菜那、164センチの美帆の3人がスムーズな先頭交代や、足を合わせて空気抵抗を減らすためにいかに接近して滑れるかなどをテーマに臨んだ。先頭を美帆がまず務め、続いて菊池、菜那が交代して引張った。最後は姉から妹に替わってゴール。美帆は「この3人でのイメージはつくれた」と手応えを口にした。菜那は「リンクと選手のコンディションを考えると、3分を切れて良かった。チームワークも最高の状態で臨むため、

この日はBチームに回った佐藤を含めどう体力を温存するかの戦術が必要になる。美帆は「タイトなスケジュールをこなすためにも4人でのレースは必要不可欠。きょうの作戦が全てでなく、その場の状況に応じて組み立てていく必要がある」と気を引き締めていた。レース後はチームの各メンバーが観客に向かって決意を披露、美帆は「日本選手団一丸となって金メダルへ突っ走っていきたい」と高らかに宣言、大きな拍手を浴びた。



金メダル獲得を宣言して、観客の拍手に手を振って応える女子日本代表チーム(左から高木美帆、菜那、菊池彩花、佐藤綾乃)

前日と同様、五輪で2月19日と21日に行われる午後8時の時間帯に合わせ、女子団体追い抜きは同7時50分に競技を開始。女子の3選手は、昨年12月上旬のワールドカップ(W杯)第3戦で組んで以来2度目の実戦形式となった。体を追い込む厳しい練習をしてい

【男子】▽1000メートル 小田卓朗(水戸開研) 1分10秒49 ※近藤太郎(ANAS)は途中棄権▽1500メートル 小川翔也(福井県体協)専大、中札内中) 3分2秒66

【女子】▽500メートル 池田高出 1分53秒91 ②新山強(徳島体協) 1分54秒82 ③団体追い抜き ①日本(ウイリアムソン師岡) ②日本電産サンキョー、一戸誠太郎(信州大、土屋良輔)メモリード ③47秒08 ②日本B(中村英太)ロジネットジャパン、大林昌仁(福井県体協、土屋陸) ①日本電産サンキョー) 3分47秒74

【女子】▽5000メートル 我こなみ(ホテル東日本) 39秒13 ②中村杏奈(福井県体協) 40秒05 ③1500メートル ①歸山麻衣(JFEエンジニアリング) 2分4秒43 ②団体追い抜き ①日本(高木美帆)日体大助手(日体大、帯南商高) ②高木菜那(日本電産サンキョー)同高(高木美帆、菊池彩花)富士急) ③2分59秒29 ②日本B(佐藤綾乃)高崎健大、酒井寧子(同)帯南商高、押切美沙(富士急)駒大苫小牧高、中札内中) 3分2秒66